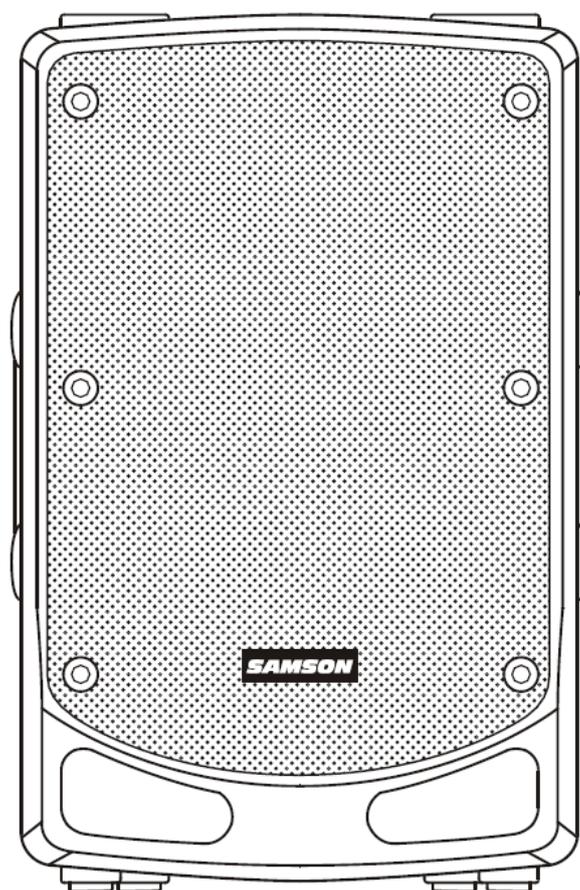


EXPEDITION **XP112a** **XP115a**

Version 1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

記号の説明



感電の危険性があります。カバーを開けないでください。



危険をユーザーに警告しています。製品内の電圧により、感電の危険性があります。



安全にご使用いただくためにマニュアルの指示に従ってください。

安全上の重要事項

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中に入れてください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。
5. メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
6. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
7. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
8. 安全のため、アース付きプラグを使用してください。プラグのブレードは一方が幅広になっています。アース付きプラグには、2つのブレードとアースピン（グラウンド）が付いています。幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。プラグが上手く挿さらない場合、技術者にコンセントの差し込み口を確認して貰う事をお勧めします。
9. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
10. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
11. 製品受領時に外部に損傷（電源ケーブル等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージがあった場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに

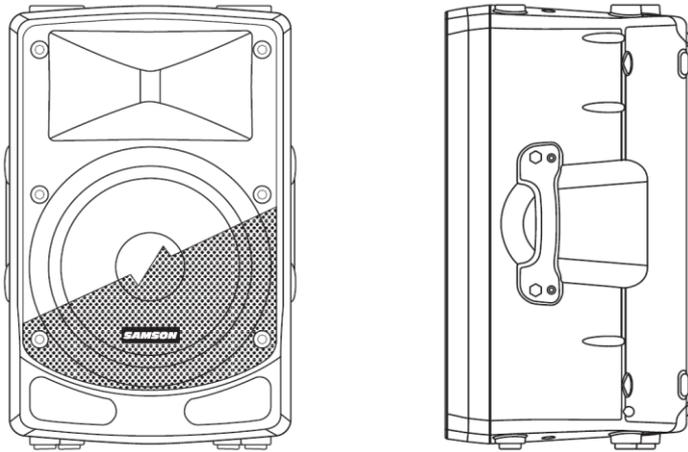
使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れがあります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合があります。

12. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
13. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
14. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
15. 電源コードのプラグは抜き差し可能で、差し込むだけで使用できます。
16. 地域の法律に沿ってご使用ください。
17. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

目次

記号の説明.....	2
安全上の重要事項.....	2
主な特徴.....	5
詳細仕様.....	6
各部の名称.....	7
クイック・スタート.....	8
マイクの接続.....	9
ステレオ信号音源を接続.....	10
設置.....	11

主な特徴

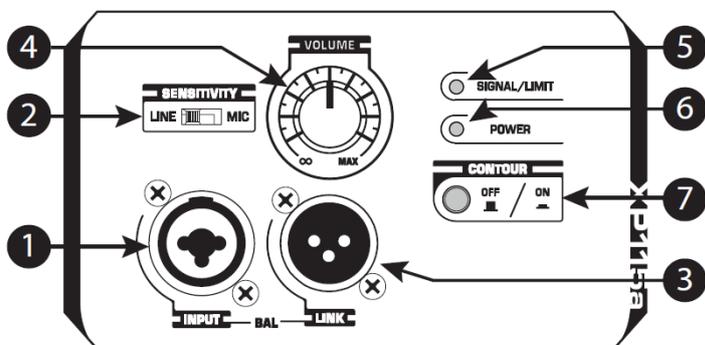


- ライブ向け 500W、2WAY アクティブスピーカー
- 超ワイド、フラットな周波数特性
- カスタムデザイン、堅牢で音飛びの良い 12/15 インチ・ドライバーにより優れた低域特性を実現
- 1 インチ・スロート、1 インチ・ネオジウム・ツイーター採用によるスムーズな高域再生
- 豊富な入出力
マイク/ライン入力 (コンボ (XLR/フォン))
スピーカー連結用ライン出力 (XLR)
- EQ 切り替えスイッチ搭載
- 最適なクロスオーバーポイント
- 横置きにし、ステージモニターとして使用可能 (45 度傾斜)
- スピーカースタンド対応
- ポールマウント・ソケット (35mm) x 1 搭載
- 汎用性の高いポータブル設計 (サイドハンドル付き)
- 伸びのある低域を出力するバスレフポート
- 丈夫で軽量のポリプロピレン・キャビネット構造

詳細仕様

	XP112a	XP115a
出力	500W(400LF+100HF)	
	250W RMS(200LF+50FH)	
LFトランスデューサー	12 インチ・ウーハー 2 インチ・ボイスコイル	15 インチ・ウーハー 2 インチ・ボイスコイル
HFトランスデューサー	1 インチ・ネオジウム・ドライバー	
周波数特性	60Hz - 20kHz	50Hz - 20kHz
最大音圧レベル	119dB	121dB
リミッター	緑 LED 点灯	
ホーン・カバレッジ角	90 度x60 度(水平x垂直)	
クロスオーバー周波数	2.5kHz@12dB/Oct	
入力	マイク/ライン(コンボ(XLR/フォン))x1	
出力	パススルー出力(バランスXLR)	
コントロール EQ	100Hz&12kHz ブースト	
保護回路	サーマルカット、オーバーロード、アナログリミッター、コンプレッサー	
消費電力	260W	
電源コネクター	IEC タイプ	
ヒューズ	T4A 、AC250V	
電源	AC100V、50 - 60Hz	
エンクロージャー	材質(ポリプロピレン)、メタルグリル、ゴム足、サイドハンドル	
寸法(LxWxH)	380x327x606.5mm	386x356x631.5mm
質量	14kg	14.8kg
マウント	ポールマウント・ソケット(35mm)x1	

各部の名称



1. INPUT

マイク/ライン入力（コンボ（XLR/フォン））です。

2. SENSITIVITY (MIC/LINE)

マイク-ラインを切替えます。

3. LINK

パススルー出力（バランスXLR）です。

4. VOLUME

全体のボリュームをコントロールします。

5. SIGNAL/LIMIT LED

入力信号があるとき緑色に点灯。クリッピングポイントに近づくとき赤色に点灯します。
 ※赤色 LED が頻繁に点滅するときはボリュームを下げるか、音源の信号レベルを下げてください。LED は緑色に点灯、または信号がピーク時のみ赤色に点灯します。

6. POWER

電源が入っているとき緑色に点灯します。

7. CONTOUR

EQ を ON/OFF します。

8. AC INPUT

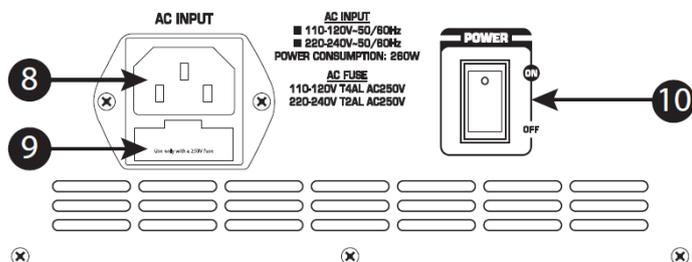
IEC タイプ電源ケーブルを差し込みます。

9. ヒューズホルダー

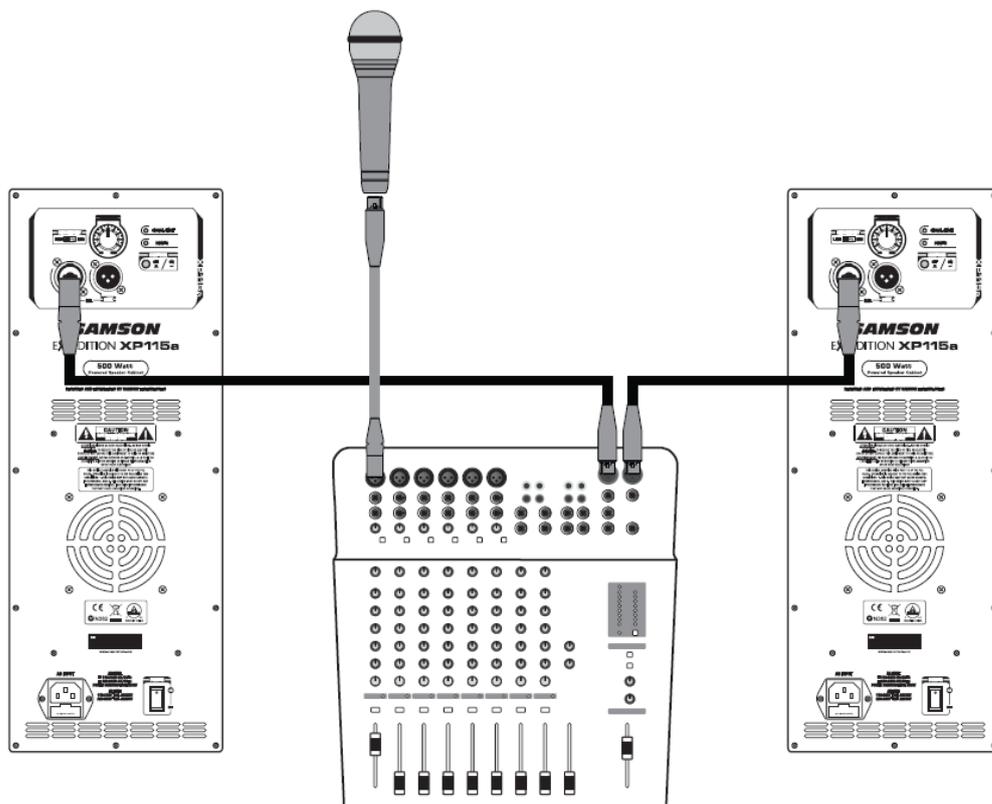
ヒューズが格納されています。

10. POWER

電源を ON/OFF します。



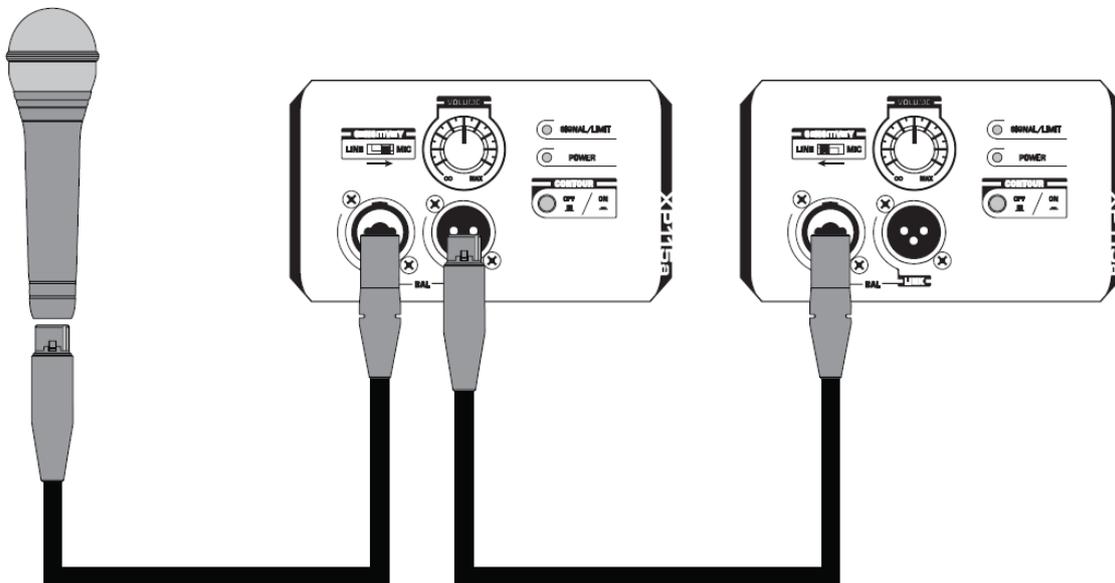
クイック・スタート



XP112a/XP115a のセットアップ手順

1. 電源スイッチを **OFF** にします。
2. ボリュームを反時計回り一杯に回します。
3. **CONTOUR** スイッチを **OFF** の位置にします。
4. ミキサーからのライン入力信号をマイク/ライン入力に接続してください。
5. 付属の電源ケーブルを電源コネクタに接続します。
6. 電源スイッチを **ON** にします。
7. ミキサーからライン信号を送ります。
8. ゆっくりボリュームを上げます。
9. 音量が大きすぎる場合、または **LIMIT LED** が赤く点滅している場合はボリュームを下げてください。

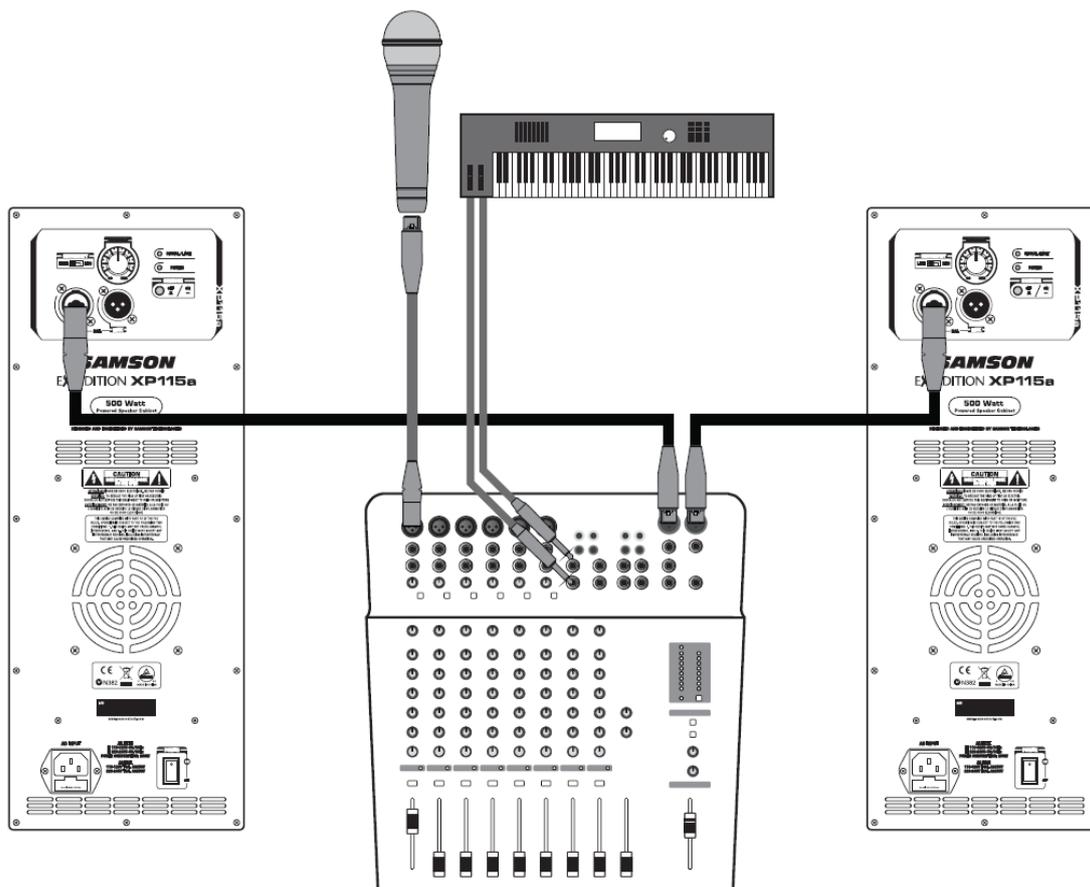
マイクの接続



ダイナミックマイクを接続します。

1. 電源スイッチを **OFF** にします。
2. ボリュームを反時計回り一杯に回します。
3. 付属の電源ケーブルを電源コネクタに接続します。
4. XLR ケーブルを使用してダイナミックマイクを接続します。
5. **SENSITIVITY** スイッチを **MIC** の位置にセットします。
6. 電源スイッチを **ON** にします。
7. マイクに声を送りながら、ゆっくりボリュームを上げて音量を調整します。
8. スピーカーを連結する場合は、**LINK** 出力を使用します。この際、2 台目の **SENSITIVITY** スイッチを **LINE** 側にセットしてください。

ステレオ信号音源を接続



ステレオ・ラインレベル信号を2台のスピーカーに接続

1. 電源スイッチを **OFF** にします。
2. **LEVEL** コントロールを反時計回り一杯に回します。
3. 付属の電源ケーブルを電源コネクタに接続します。
4. ミキサー、またはキーボードから **XLR**、またはフォンケーブルを使用して接続します。
5. **SENSITIVITY** スイッチを **LINE** の位置にセットします。
6. 電源スイッチを **ON** にします。
7. ミキサーからラインレベル信号を送ります。
8. ゆっくりボリュームを上げます。

設置

スピーカーはできる限り聴衆より高い位置に設置することを推奨します。

本製品にはロック付きポールマウント・ソケット（35mm）があり、様々なメーカーのスピーカー・スタンドに設置できます。カフェテリア、図書館、売店など、狭い場所に設置する場合、チルトマウント設置がお勧めです。音飛びも良くなり、スピーカースタンドも必要ありません。

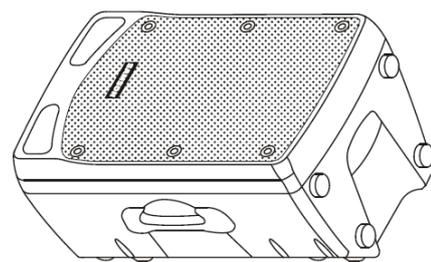
※ポールマウントを使用する場合、スピーカースタンドの耐荷重量に注意してください。

※本製品をスピーカースタンドに設置、調整するときは必ず2人以上で作業してください。

フロアモニター

XP112a/XP115a はステージモニターに最適です。

設置の際はホーンスピーカーが向かって右側にくるようにしてください。



SAMSON®